

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 9 月 10 日 (2015.9.10)

【公表番号】特表 2014-522899 (P2014-522899A)

【公表日】平成 26 年 9 月 8 日 (2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報 2014-048

【出願番号】特願 2014-519676 (P2014-519676)

【国際特許分類】

C 09 J 4/04 (2006.01)

C 09 J 11/06 (2006.01)

C 09 J 133/10 (2006.01)

【 F I 】

C 09 J 4/04

C 09 J 11/06

C 09 J 133/10

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 22 日 (2015.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

( a ) シアノアクリレート成分、及び

( b ) 水素化芳香族無水物

を含む、シアノアクリレート接着剤組成物。

【請求項 2】

更に、ベンゾニトリルを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記水素化芳香族無水物が水素化無水フタル酸である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記水素化芳香族無水物がテトラヒドロフタル酸無水物である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記ベンゾニトリルが、3, 5 - ジニトロベンゾニトリル、2 - クロロ - 3, 5 - ジニトロベンゾニトリル、ペンタフルオロベンゾニトリル、  
、  
- 2 - テトラフルオロ - p - トルニトリル、及びテトラクロロテレフタルニトリルからなる群より選択される、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 6】

更に、酸性安定剤及びフリーラジカル抑制剤を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記シアノアクリレート成分が、 $H_2C = C(CN) - COOR$  の構造 ( 式中、R は、 $C_{1 \sim 15}$  アルキル、アルコキシアルキル、シクロアルキル、アルケニル、アラルキル、アリール、アリル及びハロアルキル基より選択される ) の範囲内の物質から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記シアノアクリレート成分が、エチル - 2 - シアノアクリレートを含む、請求項 1 に

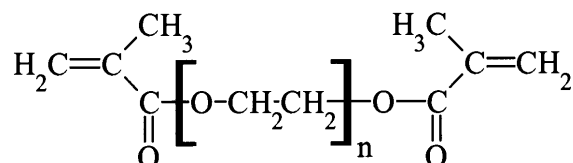
【請求項 9】

【請求項 10】

【請求項 1 1】

【請求項 1 2】

【化 1】



【請求項 13】

【請求項 14】

【請求項 15】

【請求項 16】

請求項 1 に記載のシアノアクリレート含有組成物の調製方法であって、  
シアノアクリレート成分を用意するステップ、及び  
それに、水素化芳香族無水物及び任意選択でベンゾニトリルを、混合により混ぜ合わせるステップ、  
を含む方法。

【請求項 17】

固化速度、安定性又は色調の少なくとも一つを損なうことなく、シアノアクリレート組成物の硬化生成物に対して向上した耐熱性を付与する方法であって、  
シアノアクリレート組成物を用意するステップと、  
水素化芳香族無水物及び任意選択でベンゾニトリルを用意するステップと、  
を含む方法。

【請求項 18】

シアノアクリレート成分を含むシアノアクリレート組成物であって、その改良が、シアノアクリレート組成物の固化時間を損なうことなく硬化反応生成物の耐熱性を改良するために、シアノアクリレート成分に水素化芳香族無水物を添加することを含むシアノアクリレート組成物。

【請求項 19】

更に、ベンゾニトリルを含む、請求項 18 に記載の組成物。